

R6年度 以上児（ゆり・ばら・うめぐみ） 1年間の反省

【担任】うめぐみ：小川・久永 ばらぐみ：鼻影・山本 ゆりぐみ：田中愛・井手田

◆活動◆

◎戸外遊び◎

・園庭・屋上などを交代で利用し、夏期以外はどのクラスも、なるべく戸外で体を動かす時間を設けた。

◎夏の遊び◎

・猛暑の為、安全性を考慮し、屋上のプールは使用せず園庭で水遊びを行う。全クラスでの交代制で行ったため、遊ぶ回数は例年より少なくなる。その分、色水あそび、洗濯遊び、感触遊びなど、遊びの内容を工夫して、夏ならではの遊びを楽しめるようにした。

◎体育活動◎

・学年に合わせ運動用具に関わり、安全な使い方や体の動かし方の指導に努めたが、行事なども入りうまくいかないことも多かった。また、登園時間が遅い児（9時または9時過ぎ）が多かったため、9時15分の一斉開始は難しかった。

◎表現◎

・季節の折り紙製作のほか、廃材を使った工作遊び、さまざまな素材や画材道具を使った製作活動などを行った。回数を重ねるうちに、自分がイメージしたものを形にする楽しさや面白さを味わえるようになったと思う。

◆行事◆

◎運動会◎

・各年齢に応じた競技を十分検討し、なるべく早く練習に取り組めるようにし、子どもたちの負担にならないように努めた。

◎お遊戯会◎

・運動会の経験もあり、それぞれが自分の役割を果たし、楽しむことが出来たように思う。ひとりひとりが意欲的に取り組めるような声掛けを行うよう努めた。

◎保育参観◎

・年少・年中は保護者と一緒に楽しめる製作活動を行い、年長は就学に向けて学習的な要素を取り入れた保育を行う。

◆ 生活指導 ◆

- ・ブラウス・カッターシャツの襟、裾の始末など、身だしなみにおいては年間を通じて声をかけていき、自分で気づけるようきっかけを作っていくようにした。各学年3学期に入ると、自分なりに整える姿が見られるようになった。
- ・スプーン、お箸、配膳の仕方、行儀など、食事のマナーに関しては、1年間を通して伝えていくが、なかなか身につかず、難しさを感じた。
- ・各クラス遊ばずに降園することを約束にしていたが、なかなかうまくいかず、保護者の協力が必要だと改めて感じた。

◆ 総括 ◆

- ・遊び、生活、行事など、身につけてほしいこと、経験してほしいことなどは、3クラスで情報を共有し、細かく取り組むようにしてきたが、行き届かなかったことも多かったように思う。